

SDGsの達成に向けた具体的な取組みチェックリスト

| | |
|------|-----------|
| 作成日 | 令和5年8月23日 |
| 事業者名 | 日本水機工(株) |
| 形態 | 中小企業等 |

| | 達成率 | 基準の達成 |
|-------|-------|-------|
| ガバナンス | 80.0% | ○ |
| 環境 | 44.4% | ○ |
| 社会 | 78.3% | ○ |
| 経済 | 55.6% | ○ |
| 合計 | 65.0% | ○ |
| 総合判定 | | ○ |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 回答 | ゴール・ターゲット | |
|---|---------------|----------|--|-----------|---------------------|
| 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | ガバナンス 管理体制 | 経営理念 | ○ | 8、9 | |
| | | 組織体制 | ・経営理念及び経営目標にSDGsの理念やゴールを取り入れており、かつ従業員に共有している | ○ | 17.16、17.17 |
| | | | ・リスクを特定し、資産・活動を保護するための方針・対策を定めている | ○ | 16 |
| | | 法令遵守 | ・法令遵守(コンプライアンス)に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている | ○ | 4.4、16.5、16.7、16.10 |
| | | | ・法令遵守(コンプライアンス)に関する従業員への研修を実施している | ○ | 16 |
| | | 情報セキュリティ | ・情報セキュリティに関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている | × | 4.4、16.10 |
| | | | ・情報セキュリティに関する従業員への研修を実施している | ○ | 16 |
| | | 個人情報 | ・個人情報保護に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている | × | 16.10 |
| | | 事業継続 | ・事故、災害、感染症などの発生時におけるBCP(事業継続計画)を策定している | ○ | 1.5、11.5、13.1 |
| | | 情報公開 | ・環境情報、社会貢献活動などの情報をホームページ等を活用し対外的に公開している | ○ | 17.16、17.17 |
| | | | | 8 | |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 回答 | ゴール・ターゲット | |
|---|------------|---|--|--------------|-------------------------|
| 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 | 環境 自然環境 | 生物多様性 | ・事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その対策を定めている | ○ | 6.6、15.1-15.5、15.8 |
| | | | ・生物の生息地、希少種・在来種の保全のため、地域に適した植林・植樹、里山保全活動等の活動を実施している | ○ | 6.6、14.1、15.4、15.5、15.8 |
| | | 天然資源の持続的利用 | ・天然資源の保全に配慮された、認証製品の利用を進めている(森林資源:FSC認証、パーム油:RSPO認証、ゴム:FSC認証、RSPO認証、コーヒー:レインフォレスト等、天然水産物:MSC認証、養殖海産物:ASC認証等) | × | 12.2、14.4、15 |
| | 循環型社会 | 3R | ・事業活動において使用・廃棄する紙の削減、再利用、再資源化を進めている | ○ | 11.6、12.3-12.5 |
| | | | ・事業活動において発生するプラスチックごみの削減、再利用、再資源化を進めている | × | 11.6、12.3-12.5 |
| | | 環境汚染予防 | ・自社の廃棄物の種類・量を把握しており、その削減に向けた目標がある | × | 6.3、11.6、12.3-12.5 |
| | | | ・自社が利用する有害化学物質の種類、量を把握し、適切に管理している | ○ | 6.3、11.6、12.3-12.5 |
| | 水 | ・水源を含む水の使用状況を把握し、使用量の削減に向けた目標がある | × | 6.1、6.4 | |
| | 脱炭素 | 温室効果ガス | ・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)を把握している | × | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | | ・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)の削減に向けた目標がある | × | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | | ・他者から供給された電力・熱エネルギーの使用による温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の間接的な排出量(スコープ2)を把握している | × | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | | ・他者から供給された電力・熱エネルギーの使用による温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の間接的な排出量(スコープ2)の削減に向けた目標がある | × | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | | ・脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの削減目標があり、排出の抑制に取り組んでいる。 | ○ | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | | ・カーボン・クレジット(J-クレジット制度等)を購入し、カーボンオフセットに貢献している | × | 7.2-7.a,11.6、12.4、13.3 |
| | | 省エネ | ・自社の使用電力量を把握しており、その削減に向けた目標がある | ○ | 7.3、8.4、9.4、13.3 |
| | | | ・省エネに向けた取組みを実施している(事業所のLED化、エネルギー効率の高い設備の導入等) | ○ | 7.3、8.4、9.4、13.3 |
| | 再生可能エネルギー | ・再生可能エネルギー、グリーン電力を導入している(太陽光発電パネルの設置、水力・地熱・風力・バイオマス、水素エネルギー等の発電による電力購入等) | ○ | 7.2、9.4、13.3 | |
| | | ・事業所の使用電力のうち31.5%※以上を再生可能エネルギーで賄っている ※岐阜県エネルギービジョン目標値 再エネ電力比率31.5%(2025年度) | × | 7.2、9.4、13.3 | |
| その他 | | ・環境に資する取組み() | 自由記載 非加点 | | |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 回答 | ゴール・ターゲット | |
|------|---|--|--|-------------|---------------------------------|
| 1 社会 | 人権 | 差別の禁止 | ・人権尊重、差別の禁止に関する方針を企業理念や社内規程(就業規則等)に定めている | × | 5, 8.5, 8.8, 10.2, 10.3, 16.7 |
| | | ハラスメント禁止 | ・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている | ○ | 5.1, 5.2, 8.8, 10.2, 10.3, 16.1 |
| | | | ・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)を防止するための取組みを実施している(研修の実施、相談窓口の設置等) | ○ | 5.1, 5.2, 8.8, 10.2, 10.3, 16.1 |
| | 労働慣行 | 労働安全衛生 | ・労働安全衛生の方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている | ○ | 8.8 |
| | | 公正な待遇 | ・正規雇用者と非正規雇用者の職務内容と責任度合いを把握し、賃金・福利厚生等の待遇の基準を明確化している | ○ | 8.5, 10.4 |
| | | | ・面談、ヒアリング、アンケート等、年1回以上、従業員とのコミュニケーションの機会を設けている | ○ | 8, 10.4 |
| | | 労働時間 | ・適切な労働慣行の実現に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている | ○ | 3.4, 8.5 |
| | | | ・過去1年間において、常用従業員(パートタイム労働者を含む)1人あたりの所定外労働時間が月10時間以下であり、月45時間以上の従業員がゼロである | × | 8 |
| | | 有給取得 | ・過去1年間において、期間を定めず雇われている労働者(パートタイム労働者を除く)の年次有給休暇の取得率が55%以上である | ○ | 3.4, 8.5 |
| | | 人材育成 | ・職務、役割等に応じた従業員への研修等が実施されている | ○ | 4.4, 4.5, 8.5, 8.6 |
| | | 健康経営 | ・従業員の健康維持のための具体的な取組みを実施している(定期健康診断の実施と診断結果のフォロー、健康増進に向けたイベント開催等) | ○ | 3.4, 3.8 |
| | | 女性の活躍 | ・女性管理職(課長相当職以上※役員を除く)比率、女性採用比率の目標を設定している | × | 4.5, 5.4, 5.5, 8.5 |
| | | | ・女性管理職比率が産業別平均値を超えている | ○ | 4.5, 5, 8.5 |
| | | | ・男性女性の育児休業取得の促進、子連れ出勤等、仕事と育児の両立に向けた取組みを実践している | ○ | 5, 8 |
| | ・女性のキャリアアップに向けた研修・セミナー等、女性の活躍に向けた取組みを実践している | | ○ | 4.5, 5, 8.5 | |
| | ダイバーシティ・インクルージョン | ・高齢者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等) | ○ | 8.8, 10.2 | |
| | | ・障がい者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等) | × | 8.5, 10.2 | |
| | | ・外国人を雇用しており、当該外国人材が活躍できる職場環境づくりを進めている(外国人社員の日本語能力向上支援、宗教や食文化への対応等) | ○ | 10.2 | |
| | 勤務形態 | ・リモートワーク、フレックスタイム等を導入し、柔軟な勤務形態(場所・時間)を認めている | × | 5.4, 8.2 | |
| | 社会貢献 | 地域貢献 | ・地域の自治体やコミュニティ(自治会等)と交流する機会を設けている | ○ | 11, 12.8, 17.16, 17.17 |
| | | | ・地域に貢献する活動(寄付、地域の防災・清掃活動等)を実施している | ○ | 11, 12.8, 17 |
| | | | ・地域の次世代を担う人材育成(子供たちへの就業体験、キッズスクール等)を実施している | ○ | 4, 11, 12 |
| | | SDGsの普及啓発 | ・地域社会に向けてSDGsの普及啓発(講演、講習等)や情報発信(ホームページ、SNS等)を展開している | ○ | 11, 12.8, 17.16, 17.17 |
| その他 | | ・社会に資する取組み() | 自由記載 非加点 | | |

18

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 回答 | ゴール・ターゲット | |
|------|---------|-----------------------|--|-----------|-------------------------|
| 1 経済 | 公正な事業慣行 | 公正な競争 | ・不正な競争・取引の禁止、汚職・贈収賄の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている | ○ | 16.4, 16.5 |
| | | 知的財産保護 | ・知的財産権を侵害しないよう、適切に対応している | ○ | 16.4, 16.5 |
| | | サプライチェーン管理 | ・取引先に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請している | × | 9.3, 12.3, 12.4 |
| | 製品・サービス | 製品・サービスの安全性と品質 | ・製品安全に関する方針・目標・組織体制・基準等を定めている | ○ | 9, 12 |
| | | 環境配慮 | ・製品・サービスにおいて、環境への負荷軽減に配慮している(CO2の削減、省エネ、廃棄物の削減、リサイクルしやすい製品設計等) | × | 6, 7, 9, 12, 13, 14, 15 |
| | | 社会課題解決 | ・製品やサービスにおいて、社会課題解決を考慮している(人手不足の解消、地域の活性化等) | ○ | 8, 9, 11 |
| | | 地産地消 | ・地元の原材料、製品、サービス等を優先的に活用している | × | 12.8, 12b |
| | | DX(デジタル・トランスフォーメーション) | ・デジタル技術を活用し、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる | × | 8, 9, 11, 12 |
| | | パートナーシップ | ・異業種連携により、新たなビジネスや付加価値の創出に取り組んでいる | ○ | 17 |
| その他 | | ・経済に資する取組み() | 自由記載 非加点 | | |

5